

中繩作戦  
二於

第五海上挺進基地隊本部史實資料

昭和二十二年三月二十五日  
第三軍 殘務整理部

部隊長 陸軍少佐  
副官 陸軍中尉  
部隊附 陸軍大尉

三  
小池 明  
藤村 武夫  
美濃羽 陸造

一 部隊行動概要

昭和三年三月二十一日第一船團作命由三島、部隊長三浦少佐、  
木村少尉、南技師、少尉、山本一等兵、八船、船團長大門大佐、在慶  
良間諸部隊、作戰指導ニ隨行ス。

部隊長不在間、美濃羽大尉代理ヲ命ゼラル

三月二十日座間味島第一戰隊、舟艇秘匿家、教育視察後  
部隊本部ニ講評中、空襲ニ了セ退避ス。

三月二十日四時七、水船三、阿嘉島第二戰隊ニ向フ、二十一日日中  
空襲ニ了セ退避ス。

三月二十四日夜、二艇三、卯島ニ歸還、企圖ニ阿嘉島出介

三月二十日夜、大田大佐副官、第三大隊長鈴木少佐、「三池」少佐、  
木村少尉、第三大隊新海中尉、(1)二艇ヲ本島ニ向テ、

三月二十日、「三池」少佐、(1)夜、喜島北端儀志布島附近ニテ、  
覆シ再ニ第三大隊陣地ニ還リ、三池少佐以下二名、(1)三池、  
陣地構築等ニ援助ス、

南技師少尉、山本一等兵八二十五、團長出陣ニ際シ、船團、隨行  
者ト共ニ第三大隊長ノ指揮下ニ入リテ命ゼラル、

五月中旬、本島ニテ「三池」少尉以下、通信班渡喜島ニ陸シ、  
三池、木村少尉、本島ヨリ「連絡」ト木舟ニテ本島歸還シ、  
系船ニ上陸、船團、部隊ニ連絡、

軍命令ヨリ、「三池」少佐海軍基地參謀トシテ海軍部隊ニ轉任ス、  
在津總本島基地隊本部ハ五連基作命甲ヨリ美濃羽大尉  
部隊ヲ掌握、三月二十五日津總改善敷化ニトモテ、浦津船号一

般、順序ニ首里繁田川、洞窟ニ部隊ヲ秘動シ、船船團及  
戰隊、連絡ニテタル

敵上陸後、通信班ハ船船團ニ轉任(一部ハ下班)ハ第三十八戰  
隊ノ通信班ニ配属

副官、船村中尉以下、兵特設第九聯隊ニ轉任  
第四軍團見習士官、第三十九戰隊軍医、欠員、タメニ月ヨリ勤務  
暗号班長、醒睡中尉、第三十九大隊ヨリ勤務、(通信班長、大島少  
尉、下士官、兵、船工、第二十六聯隊ニ轉任、轉任後、山工兵隊  
本部へ転任)

美濃羽大尉、残余ノ下士官、兵ヲ指揮ス、  
南技師少尉、山本一等兵八、第三十六大隊勤務兵、第三戰隊

一転任  
本隊、行動ニ際シテハ所長異ナルニテ不明ナリ